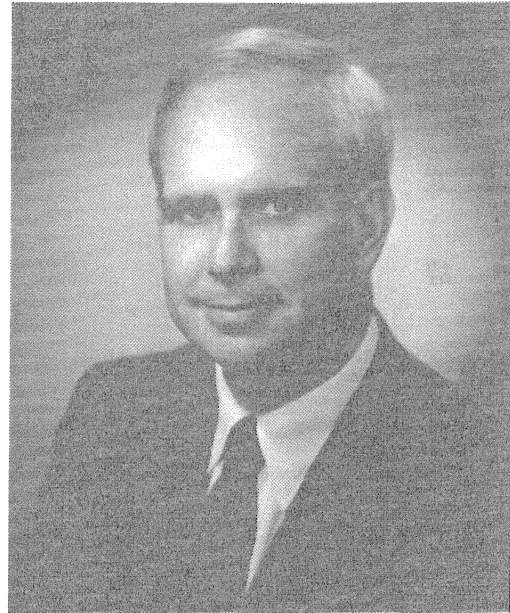


第二回国際生物学賞受賞者

ピーター・ハミルトン・レーブン氏
Dr. Peter Hamilton Raven

生年月日 1936年6月13日
国 籍 アメリカ合衆国
連絡先 Missouri Botanical Garden
P.O.Box 299, St. Louis,
Mo 63166-0299, U. S. A.

現 職 ミズーリ植物園長
ワシントン大学教授
(なお、セントルイス大学
教授及びミズーリ大学教授
を兼ね、マッカーサー財団
の特別会員である。)



経 歴 1957 カリフォルニア大学バークレー校卒業
1960 カリフォルニア大学ロサンゼルス校で Ph.D. 取得
1961-62 ランチョ・サンタ・アナ植物園 (ニューハンプシア州
クレアモント) 植物標本館主任
1962-71 スタンフォード大学助教授・準教授
1971- ミズーリ植物園長
— その間 1960-61 NSF (米国科学財団) ポストドクトラル
フェローとして大英博物館で研究に従事
1969-70 ニュージーランド科学技術省高級研究員

受賞歴 A.P. DeCandolle Prize, Geneva (1970)
Award of Merit, Botanical Society of America (1977)
Willdenow Medal, Berlin Botanical Garden (1979)
International Environmental Leadership Medal, United Nations Environmental
Programme (1982)

代表的 Biology of Plants (1970. Fourth Ed., 1986)
著書 Coevolution of Animals and Plants (Gilbert, L. E. and P.H. Raven
(eds.). 1975. Revised edition, 1981.)
The Genus *Epilobium* (Onagraceae) in Australasia : A Systematic
and Evolutionary Study (with T. E. Raven. 1976.)
Topics in Plant Population Biology (Solbrig, O. T., S. Jain, G. B. Johnson, and
P. H. Raven (eds.). 1979)
Biology (with G. Johnson. 1986.)

学協会 米国学士院会員 (1977-)
会 員 同評議員 (1983-86)
デンマーク学士院外国会員 (1980-)
スウェーデン学士院外国会員 (1982-)
ニュージーランド王立協会名誉会員 (1984-)
ロンドン・リンネ学会外国会員 (1984-)

研究業績 1 種子植物の分類学・進化学に対する寄与——アカバナ科を材料として、比較形態学、比較発生学、細胞分類学、比較生化学、植物地理学などの最新の解析技術を駆使した研究を行い、特定分類群の種属誌的研究の一つのモデルを作り上げた。そのため、かつては個別的に進められていた分類学の研究を総合科学として解析する大型共同研究として組織した。現在では、更にアイソザイム（イソ酵素）を指標とする遺伝解析や葉緑体DNAの構造比較による類縁の解析などを行い、分岐法による情報処理を進めるなど、常に新技法を取り入れながら種と類縁の研究の推進を行っている。また、昆虫学の研究者として出発した利点を生かし、花と送粉昆虫との共役進化 (co-evolution) を科学的手法で解明する基礎を作り、自然交雑による収れん現象 (convergence) など進化生物学の問題を明らかにする手がかりを作った。

2 植物系統分類学の普及——多数の著作、編著書によって現在の植物分類学の問題点を指摘し、この分野の発展に寄与するとともに、生物学全般に有用な影響を与えている。Biology of Plants (1970年初版、1986年4版) は18か国語に

訳されているなど、植物を対象とした科学の現状が紹介された好著として広く利用されており、Biology (1986年初版) は進化生物学の視点で生物学の現状を紹介する好著であり、広く生物学に関心をもつものの参考となるものである。

3 研究の組織の発展等に寄与——熱帯植物学の研究センターとしてミズーリ植物園を大きく発展させた。内外の学協会、政府機関などで重要な地位を占め、植物系統分類学の発展に寄与した。また、遺伝子資源としての野生植物の確保や絶滅の危機に瀕する種の保全の問題などについても国際的に指導的役割を果たしている。

これらの研究業績やいくつかの受賞歴にみられるように、ピーター・H・レーブン博士は、進化植物学・植物系統分類学の近代化を推進するとともに、送粉の生物学を進化植物学の基礎として確立するなど、この分野の研究の進展に寄与し、生物学の発展に大きな貢献をしており、自然保護に果たした役割を含め、同博士の生物学における功績の大きなことは明らかである。